

Table with columns: 事務事業名, 会計名称, 総合計画での位置づけ, 事業の性格, 事業の対象, 事業の目的, 改善策の具体的な取り組み(当初), 改善策の具体的な取り組み(二次評価後). Content includes '久山町社会福祉協議会の育成支援事業' and '健康福祉課'.

Table with columns: 事業費及び財源内訳 (千円), 事業活動の実績 (活動指標). Includes sub-tables for '事業費' (Direct costs, Personnel costs) and '財源内訳' (National, Prefecture, Local, Other, General). Also includes '事務量' (Personnel, Unit cost, Subsidy, Personnel fee).

Table showing '向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)' with columns for 22, 23, 24, 25, 26 years and a 5-year total.

Table for '成果指標' (Performance Indicators) showing '協議及び会議の回数' (Number of meetings) with a trend chart for 20, 21, 22, 23 years and targets.

今年度の課題への対応状況 (途中経過)

Main evaluation table with columns: 事業の事業 (Business), 自己評価 (担当者) (Self-evaluation (Staff)), 一次評価 (所属長) (Primary evaluation (Supervisor)), 目的の妥当性 (Purpose appropriateness), 市民ニーズへの対応 (Response to citizen needs), 市の関与の妥当性 (Appropriateness of city involvement), 事業の効果 (Effectiveness of business), 成果向上の可能性 (Potential for improvement), 施策への貢献度 (Contribution to policy), 手段の最適性 (Optimality of means), コスト効率 (Cost efficiency), 受益者負担の適正 (Reasonableness of beneficiary burden). Includes detailed criteria and scores.

事務事業名	久山町社会福祉協議会の育成支援事業	予算事業名		担当課	健康福祉課
会計名称	一般会計	予算科目	3 款 1 項 1 目	所属長名	久芳 義則
総合計画での位置づけ	誰もが安心して暮らせる健康福祉のまち			担当責任者名(記入者)	重山 大輔
				電話番号(内線)	
事業の性格	内部管理事務	法定事務	法令根拠等		
事業の対象	久山町社会福祉協議会		実施期間	【開始年度】	平成 21 年度
				【終了年度】	平成 年度(予定) 設定なし
事業の目的	久山町社会福祉協議会を育成し支援することで社会福祉の増進を図る。		事業の内容	久山町社会福祉協議会に対して補助金の交付や指標を行うことで育成支援をする。	
改善策の具体的な取り組み(当初)			改善策の具体的な取り組み(二次評価後)		

(担 当 責 任 者) 自 己 評 価	妥当性	目的の妥当性	5	B	B	5	目的の妥当性	妥当性	(所 属 長) 一 次 評 価			
		市民ニーズへの対応	3				5			市民ニーズへの対応		
		市の関与の妥当性	5				3			市の関与の妥当性		
	有効性	事業の効果	5	B		3	3			事業の効果	有効性	
		成果向上の可能性	4							3		成果向上の可能性
		施策への貢献度	4							5		施策への貢献度
	効率性	手段の最適性	3	B		C	3			手段の最適性	効率性	
		コスト効率	4							3		コスト効率
		受益者負担の適正	3							3		受益者負担の適正
課題認識	介入しすぎて自主性を阻害しないように、適切な育成指導を行うため注意が必要である。				福祉政策上事業部門として必要不可欠であるが、町の補助金への依存度が高い、計画性をもった自主財源確保が必要と思われる。				課題認識			
	自己評価は、担当者が主に事業推進を効率的効果的に進めたかどうかを評価したもの。 一次評価は、担当者の自己評価を踏まえて施策の推進を念頭に置き、所属長が評価したもの。											

施策を踏まえた判断	二 次 評 価	一次評価結果より以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。 一次評価をやり直し、 月 日 までに事務局へ提出すること。 外部評価委員会で評価する。 答申期限： 月 日
		一次評価結果のとおり事業継続と判断する。	
		一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 社会福祉協議会職員としての意識改革	
		一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。	
		住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。	
		一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。	
		一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。	

外部評価委員会の判断	外部評価	活発的な協議会の活動を進めており、今後も計画どおり事業を進めることが妥当である。ただし、町と協議会が目的に対しPDCAを明確にしていくことで更なる事業改善を実施していく必要がある。
------------	------	--